

まちのたから 発見

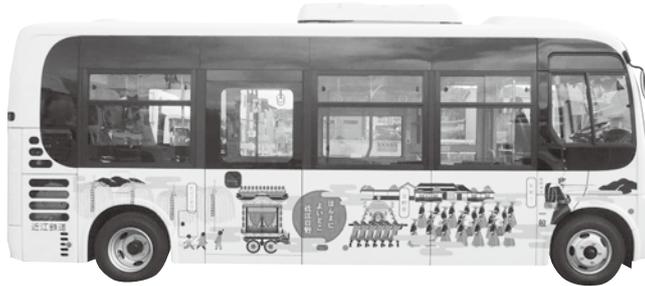
イラストレーター

洞 智子さん



今回は、イラストレーターとして活躍されている洞智子さん（中山東）にお話を伺いました。洞さんは、日野のまちなかを走る町営バスのラッピングデザイン、図書館の児童書コーナーのデザインなど、町内でも多数の作品を手掛けられています。

「祭」がテーマのラッピングバス。



ほかにも「動物」など、洞さんがデザインされたラッピングバスが4台運行しています。

【イラストとともに】

幼いころから絵を描くことが好きで、グラフィックデザイナーとして働いていたときも、年に数回イラストを頼まれ、イラストとともに過ごされました。子育てが落ち着いたころから、イラストレーターとしての仕事が増え、県内では、滋

賀県立琵琶湖博物館のディスプレイルームの壁画やパネルデザインにも携わっております。

洞さんは「好きなことを仕事にでき、『やがてうまくなりた』と向上心を持って取り組むことが、日々の充実感につながっていると思う」と話されました。

【イラストへの思い】

洞さんは結婚を機に日野町に住まわれたことで、「日野町らしいデザインやイラストにより、町の暮らしがよりよくなるお手伝いをしたいです。また、イラストによって幅広い年齢の人たちが日野町の歴史や動物などを知るきっかけになっていけばうれしいです」と、イラストを通して町への思いを話してくださいました。最近では、俳句の季語をテーマに、日本らしさを感じるような作品に取り組むことが多いそうです。

【今後の予定】

10月20日（日）、ことうへムスロイド村（東近江市）で開催される「へムスロイドの杜まつり」に出展されます。

また、洞さんのインスタグラムに作品がたくさん掲載されていますので、ぜひご覧ください。



HORA_TOMOKO
Instagram

やさしさ

韓国語教室を 開催します

日野町は、平成2年に韓国・恩山面と姉妹都市提携を結び、今日までさまざまな交流を行ってきました。これからも友好の輪を広げていくため、韓国語教室を開催します。ぜひご参加ください。

【講師】西村キョンホ氏

【とき】11月6日～12月4日の

毎週水曜日（全5回） 19時30分～21時

【ところ】勤労福祉会館101・102

【内容】文字と発音を中心に簡単な

日常会話を学びます。

【定員】15名（高校生以上、先着順）

【参加費】3,500円

（内1,000円は国際親善協会会費）

【申込期限】11月1日（金）まで

【申込方法】次のいずれかの方法でお申し込みください。

・申込書を企画振興課に

持参またはFAX

・電話

・下記の申込フォーム



申込フォーム

◆問い合わせ先

日野町国際親善協会事務局
（企画振興課内）

TEL 0748-5216550
FAX 0748-5212043

寄付・寄贈のお礼



町立保育施設に乳幼児のおもちゃを寄贈いただきました

7月31日(水)、大阪ガス株式会社滋賀事業所様から、「フルトレイン」「パズルキューブ」「カッティングフルーツパズル」などのおもちゃを寄贈いただきました。

大阪ガス株式会社の企業ボランティア活動「小さな灯」運動として、従業員の方々による「チャリティカレンダー募金」から町立保育施設におもちゃを寄贈いただくようになり、今年で8年目になります。

今年度は、西大路幼稚園、南比都佐幼稚園、こぼと園、あおぞら園、あおぞら園鎌掛分園、桜谷こども園で使用させていただきます。

ありがとうございました。

教育振興のため寄付いただきました

8月8日(木)、株式会社オカイチ様から、町の教育振興に貢献したいとの思いから、10万円を寄付いただきました。

未来を担う子どもたちの健やかな学びのため、町内の小中学校において、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



食品ロスについて知ろう！ 減らそう！

10月は食品ロス削減月間です

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。国内では、1年間に約47.2万トンもの食品ロスが発生しており、この内50%が家庭からの廃棄によるものです。

食品ロスを減らせるように、身近なことから取り組みましょう。

もったいない！

*食品ロスの量約47.2万トンを換算すると1人あたり毎日お茶碗1杯分の食事を捨てていることになります。

今日から実践！ 食品ロス削減

〈買物編〉

- ① 買物前に、冷蔵庫内などの食材をチェック
 - ・メモ書きや携帯電話で撮影し買物時の参考にします
- ② 食べる分だけ買う
 - ・まとめ買いを避け、必要な分だけ買って食べきる
- ③ 期限を確認して賢く買う
 - ・食べる予定と期限表示を確認する
 - ・すぐ使う食品は、陳列棚の手前から取る

〈家庭編〉

- ① 適切に保存する
 - ・食品に記載された保存方法に従って保存する
 - ・野菜は、冷凍、乾燥などをして保存する
- ② 食材を上手に使い切る
 - ・残っている食材から使う
 - ・作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで食べきる
- ③ 食べ切れる量を作る
 - ・体調や健康、家族の予定も配慮し、食べきれぬ量を作る

*こうした行動は、食料資源の有効活用だけでなく、ごみとして燃やすことで出るCO₂排出量の削減にもつながります。

「お家の食卓をスマート」の取り組み

ネットワークでは、フレンドマーケット日野店と各地区公民館に回収箱を設置し、「ご家庭で使いきれない食品の提供を呼びかけています。ご提供いただいた食品は、子ども食堂などで活用されています。



◆問い合わせ先 交通環境政策課 環境政策担当

☎0748-5216578